

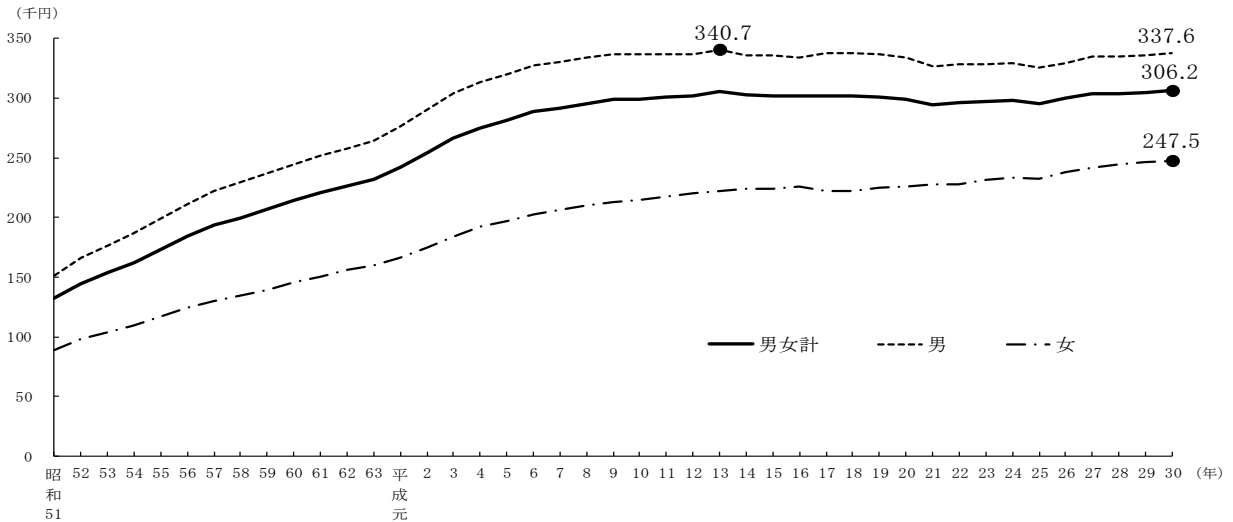
調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計306.2千円（年齢42.9歳、勤続12.4年）、男性337.6千円（年齢43.6歳、勤続13.7年）、女性247.5千円（年齢41.4歳、勤続9.7年）となっている。賃金を前年と比べると、男女計、男性及び女性のいずれも0.6%増加となっている。（第1図、第1表）

第1図 性別賃金の推移



第1表 性別賃金、対前年増減率及び男女間賃金格差の推移

年	男女計		男		女		男女間賃金格差 (男=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
平成11年	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2	64.6
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4	65.5
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	65.3
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	66.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	66.8
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	67.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	65.9
18	301.8	-0.1	337.7	0.0	222.6	0.0	65.9
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	66.9
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	67.8
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	69.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2	69.3
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9	70.6
24	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5	70.9
25	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2	71.3
26	299.6	1.3	329.6	1.1	238.0	2.3	72.2
27	304.0	1.5	335.1	1.7	242.0	1.7	72.2
28	304.0	0.0	335.2	0.0	244.6	1.1	73.0
29	304.3	0.1	335.5	0.1	246.1	0.6	73.4
30	306.2	0.6	337.6	0.6	247.5	0.6	73.3
平成30年 年齢(歳)	42.9		43.6		41.4		
勤続年数(年)	12.4		13.7		9.7		

(2) 性別にみた賃金

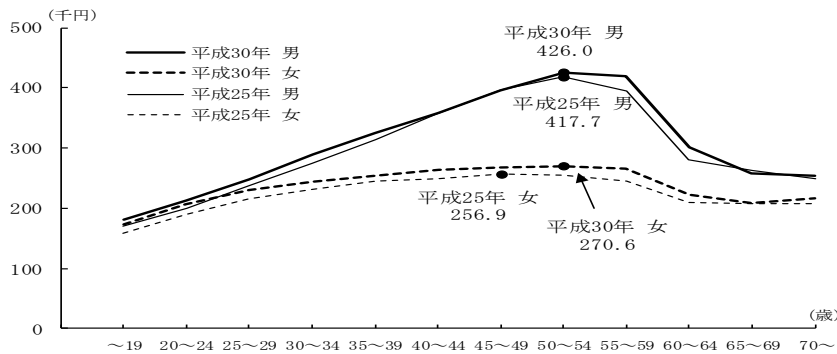
男女別に賃金カーブ*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で426.0千円（20～24歳の賃金を100とすると200.4）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性も50～54歳の270.6千円（同131.0）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。5年前と比べると、男女とも賃金カーブは上方にシフトしている。

年齢階級別に賃金の伸びをみると、男性では、20～24歳（対前年増減率1.0%増）、55～59歳（同1.8%増）、60～64歳（同2.2%増）で伸びが大きくなっている。女性では、～19歳（同2.1%増）、20～24歳（同2.0%増）、25～29歳（同1.6%増）、55～59歳（同1.4%増）で伸びが大きくなっている。年齢階級別の男女間賃金格差（男=100）をみると、50歳台の層に向かって拡大し、60歳台以上の層で縮小に転じている。

また、勤続年数は、男性13.7年、女性9.7年となっている。（第2図、第2-1表、第2-2表）

*賃金カーブとは、年齢（階級）とともに変化する賃金の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金の推移



注：線上の●印は賃金のピークを示す。以下同じ。

第2-1表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男			女		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	337.6	0.6	158.8	247.5	0.6	119.9
～19歳	180.6	0.7	84.9	172.6	2.1	83.6
20～24歳	212.6	1.0	100.0	206.5	2.0	100.0
25～29歳	247.9	-0.1	116.6	229.6	1.6	111.2
30～34歳	289.4	0.1	136.1	243.4	0.7	117.9
35～39歳	325.2	0.3	153.0	253.6	-0.2	122.8
40～44歳	358.7	0.0	168.7	264.1	0.6	127.9
45～49歳	394.9	0.1	185.7	268.7	0.2	130.1
50～54歳	426.0	0.5	200.4	270.6	0.2	131.0
55～59歳	419.5	1.8	197.3	266.5	1.4	129.1
60～64歳	300.6	2.2	141.4	222.6	-0.8	107.8
65～69歳	258.8	-0.8	121.7	208.7	-5.2	101.1
70～	253.4	-6.4	119.2	215.8	-6.1	104.5
年齢(歳)	43.6			41.4		
勤続年数(年)	13.7			9.7		

第2-2表 性、年齢階級別賃金及び男女間賃金格差の推移

年齢階級	平成25年		平成26年				平成27年				平成28年				平成29年				平成30年			
	男	女	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)	男	女	男女間 賃金格差 (男=100)		
年齢計	326.0	232.6	329.6	238.0	72.2	335.1	242.0	72.2	335.2	244.6	73.0	335.5	246.1	73.4	337.6	247.5	73.3					
～19歳	170.0	159.3	171.7	161.9	94.3	175.7	165.0	93.9	177.2	168.6	95.1	179.4	169.0	94.2	180.6	172.6	95.6					
20～24歳	200.7	190.4	202.5	192.9	95.3	205.0	196.6	95.9	209.1	199.5	95.4	210.5	202.5	96.2	212.6	206.5	97.1					
25～29歳	236.5	215.2	238.2	218.4	91.7	243.4	221.5	91.0	245.8	225.1	91.6	248.1	225.9	91.1	247.9	229.6	92.6					
30～34歳	275.2	230.5	276.3	235.1	85.1	282.6	238.4	84.4	286.9	243.4	84.8	289.0	241.6	83.6	289.4	243.4	84.1					
35～39歳	314.5	244.6	316.8	247.9	78.3	321.2	249.0	77.5	323.8	253.6	78.3	324.1	254.0	78.4	325.2	253.6	78.0					
40～44歳	357.3	249.8	355.0	255.4	71.9	359.8	262.6	73.0	360.7	261.4	72.5	358.7	262.4	73.2	358.7	264.1	73.6					
45～49歳	397.6	256.9	400.4	263.5	65.8	405.7	266.6	65.7	401.3	268.0	66.8	394.7	268.2	68.0	394.9	268.7	68.0					
50～54歳	417.7	254.2	422.6	260.2	61.6	430.1	266.8	62.0	425.7	269.5	63.3	424.0	270.0	63.7	426.0	270.6	63.5					
55～59歳	394.8	245.2	406.1	252.7	62.2	411.7	255.1	62.0	411.8	259.6	63.0	412.2	262.9	63.8	419.5	266.5	63.5					
60～64歳	281.1	209.0	284.7	216.0	75.9	291.9	221.8	76.0	291.3	218.2	74.9	294.1	224.3	76.3	300.6	222.6	74.1					
65～69歳	263.7	208.1	268.6	210.6	78.4	264.6	223.9	84.6	270.7	212.1	78.4	261.0	220.1	84.3	258.8	208.7	80.6					
70～	249.9	208.2	264.7	231.4	87.4	268.2	230.7	86.0	265.7	221.2	83.3	270.8	229.9	84.9	253.4	215.8	85.2					
年齢(歳)	42.8	40.4	42.9	40.6	43.1	40.7	43.0	40.7	43.3	41.1	43.3	41.1	43.6	41.4	43.6	41.4						
勤続年数(年)	13.3	9.1	13.5	9.3	13.5	9.4	13.3	9.3	13.5	9.4	13.5	9.4	13.7	9.7	13.7	9.7						

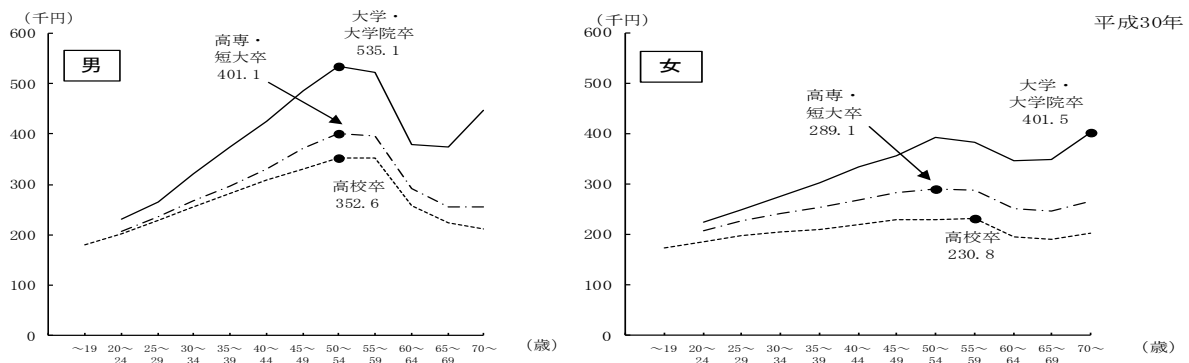
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が400.5千円（前年比0.7%増）、高専・短大卒が313.8千円（同0.9%増）、高校卒が291.6千円（同0.3%増）となっている。一方、女性では、大学・大学院卒が290.1千円（同0.5%減）、高専・短大卒が258.2千円（同1.3%増）、高校卒が212.9千円（同0.9%増）となっている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、全ての学歴において50～54歳、女性では、大学・大学院卒で70歳～、高専・短大卒で50～54歳、高校卒で55～59歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブの傾きが大きくなっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒		
		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
男	年齢計	400.5	0.7	174.1	313.8	0.9	151.2	291.6	0.3	144.7
	～19歳	-	-	-	-	-	-	180.7	0.7	89.7
	20～24	230.0	1.3	100.0	207.5	1.6	100.0	201.5	0.2	100.0
	25～29	263.8	0.0	114.7	236.2	0.3	113.8	227.9	-0.5	113.1
	30～34	321.1	-0.1	139.6	266.3	-0.3	128.3	255.7	0.5	126.9
	35～39	373.9	0.9	162.6	297.2	-0.8	143.2	281.4	-0.4	139.7
	40～44	426.4	-0.1	185.4	331.7	1.3	159.9	308.1	-1.3	152.9
	45～49	486.1	-0.1	211.3	371.1	0.0	178.8	331.5	0.6	164.5
	50～54	535.1	0.3	232.7	401.1	0.3	193.3	352.6	0.4	175.0
	55～59	522.8	1.9	227.3	397.0	0.1	191.3	352.0	1.7	174.7
	60～64	378.4	1.3	164.5	292.3	2.1	140.9	256.8	1.4	127.4
	65～69	374.9	-0.4	163.0	255.2	-1.4	123.0	224.4	0.0	111.4
	70～	447.8	-6.2	194.7	254.7	7.6	122.7	212.3	-2.5	105.4
年齢(歳)	42.4			41.3			44.8			
勤続年数(年)	13.3			12.8			14.3			
女	年齢計	290.1	-0.5	129.6	258.2	1.3	124.9	212.9	0.9	115.1
	～19歳	-	-	-	-	-	-	173.1	2.2	93.6
	20～24	223.8	1.5	100.0	206.8	2.8	100.0	184.9	0.9	100.0
	25～29	247.5	1.2	110.6	225.2	1.5	108.9	197.0	1.8	106.5
	30～34	274.7	0.2	122.7	240.2	1.3	116.2	203.1	0.6	109.8
	35～39	301.1	-0.5	134.5	253.6	0.4	122.6	208.9	-0.9	113.0
	40～44	332.3	-1.3	148.5	267.6	0.9	129.4	219.4	1.2	118.7
	45～49	355.7	-3.6	158.9	282.9	1.2	136.8	227.6	2.0	123.1
	50～54	391.6	1.9	175.0	289.1	0.3	139.8	228.1	0.4	123.4
	55～59	382.3	0.6	170.8	288.2	0.6	139.4	230.8	2.2	124.8
	60～64	345.0	-1.7	154.2	251.2	-2.8	121.5	195.1	-1.0	105.5
	65～69	347.9	-24.1	155.5	246.1	0.4	119.0	189.0	-4.5	102.2
	70～	401.5	2.8	179.4	264.1	-5.5	127.7	202.1	-3.5	109.3
年齢(歳)	35.8			41.6			44.8			
勤続年数(年)	7.7			10.3			10.6			

平成30年

(4) 企業規模別にみた賃金

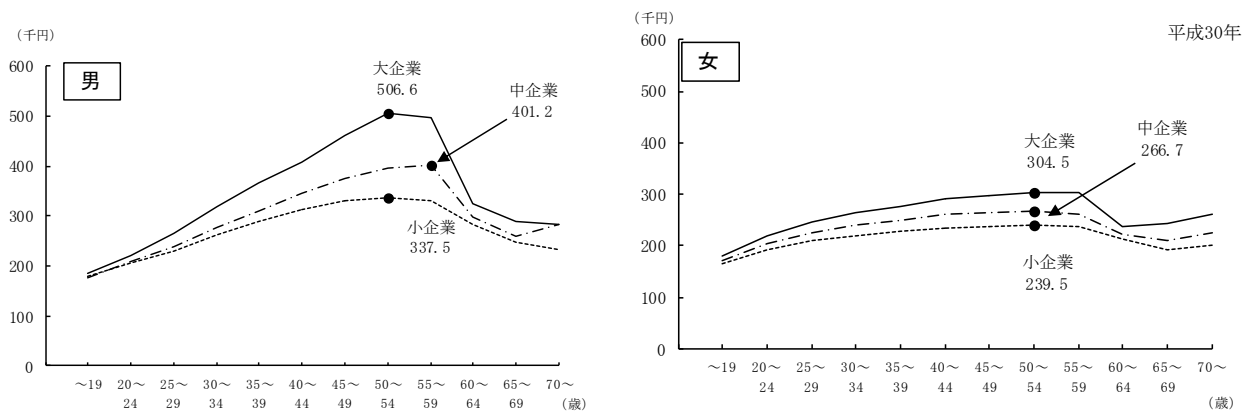
企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が387.0千円（前年比1.0%増）、中企業が321.5千円（同1.0%増）、小企業が292.0千円（同0.5%減）、女性では、大企業が270.7千円（同0.0%*）、中企業が244.4千円（同1.2%増）、小企業が223.7千円（同0.3%増）となっており、男性は大企業及び中企業で、女性は中企業及び小企業で前年を上回っている。

企業規模間賃金格差（大企業=100）は、男性で、中企業83.1（前年83.0）、小企業75.5（同76.6）、女性で、中企業90.3（同89.1）、小企業82.6（同82.3）となっている。また、5年前と比べると、中企業では男女ともに縮小（男性81.7→83.1、女性88.6→90.3）し、小企業では男性は同水準、女性で僅かに縮小（81.7→82.6）した。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、大企業及び小企業が50～54歳で、大企業506.6千円（20～24歳の賃金を100とすると229.0）、小企業337.5千円（同165.0）中企業が55～59歳で401.2千円（同192.3）となっており、女性では、全ての企業規模において50～54歳で、大企業304.5千円（同139.4）、中企業266.7千円（同130.5）、小企業239.5千円（同125.0）となっている。企業規模が大きいほど賃金カーブの傾きは大きくなっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第4図、第4-1表、第4-2表）

※「前年比0.0%」とは「対前年増減率0.0%」のことをいう。

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4-1表 企業規模、性別賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差の推移

性、企業規模			平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
			賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
賃金及び 対前年 増減率	男	大企業	378.6	-0.5	381.9	0.9	387.7	1.5	384.8	-0.7	383.3	-0.4	387.0	1.0
		中企業	309.4	-2.2	312.1	0.9	320.3	2.6	320.2	0.0	318.3	-0.6	321.5	1.0
		小企業	285.7	1.2	285.9	0.1	288.5	0.9	290.9	0.8	293.6	0.9	292.0	-0.5
	女	大企業	259.4	0.5	265.2	2.2	268.4	1.2	268.7	0.1	270.8	0.8	270.7	0.0
		中企業	229.7	-0.9	233.8	1.8	240.4	2.8	242.3	0.8	241.4	-0.4	244.4	1.2
		小企業	211.9	0.8	214.6	1.3	216.4	0.8	219.1	1.2	223.0	1.8	223.7	0.3
企業規模間 賃金格差 (大企業=100)	男	中企業	81.7	/	81.7	/	82.6	/	83.2	/	83.0	/	83.1	/
		小企業	75.5	/	74.9	/	74.4	/	75.6	/	76.6	/	75.5	/
	女	中企業	88.6	/	88.2	/	89.6	/	90.2	/	89.1	/	90.3	/
		小企業	81.7	/	80.9	/	80.6	/	81.5	/	82.3	/	82.6	/

第4-2表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

平成30年

性、年齢階級	大企業			中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
						企業規模間 賃金格差 (大企業=100)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)			企業規模間 賃金格差 (大企業=100)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)	
男	年齢計	387.0	1.0	175.0	321.5	1.0	83.1 (83.0)	154.1	292.0	-0.5	75.5 (76.6)	142.8
	～19歳	184.1	0.4	83.2	177.6	1.0	96.5 (95.9)	85.1	180.7	0.7	98.2 (97.9)	88.4
	20～24	221.2	0.5	100.0	208.6	1.4	94.3 (93.5)	100.0	204.5	0.4	92.5 (92.5)	100.0
	25～29	263.9	-0.7	119.3	239.9	0.9	90.9 (89.5)	115.0	230.9	-1.1	87.5 (87.8)	112.9
	30～34	319.1	0.2	144.3	276.3	0.8	86.6 (86.1)	132.5	262.2	-1.2	82.2 (83.4)	128.2
	35～39	366.6	0.7	165.7	310.2	0.8	84.6 (84.5)	148.7	290.3	-0.9	79.2 (80.4)	142.0
	40～44	408.9	0.0	184.9	344.1	0.8	84.2 (83.5)	165.0	313.9	-1.0	76.8 (77.5)	153.5
	45～49	460.4	0.5	208.1	374.8	0.7	81.4 (81.3)	179.7	329.8	-0.4	71.6 (72.3)	161.3
	50～54	506.6	1.2	229.0	396.6	-0.4	78.3 (79.6)	190.1	337.5	0.2	66.6 (67.3)	165.0
	55～59	497.9	3.4	225.1	401.2	1.3	80.6 (82.2)	192.3	330.3	-2.6	66.3 (70.4)	161.5
	60～64	325.4	3.2	147.1	297.3	3.9	91.4 (90.8)	142.5	282.5	-0.2	86.8 (89.8)	138.1
	65～69	288.2	-5.3	130.3	259.1	-0.1	89.9 (85.2)	124.2	247.9	0.3	86.0 (81.2)	121.2
	70～	282.4	-14.3	127.7	282.8	-11.0	100.1 (96.4)	135.6	233.5	-1.5	82.7 (72.0)	114.2
年齢(歳)	42.7			43.2				45.4				
勤続年数(年)	15.9			13.1				11.7				
女	年齢計	270.7	0.0	123.9	244.4	1.2	90.3 (89.1)	119.6	223.7	0.3	82.6 (82.3)	116.8
	～19歳	179.9	3.3	82.3	171.7	1.8	95.4 (96.9)	84.0	165.3	0.4	91.9 (94.5)	86.3
	20～24	218.5	1.2	100.0	204.3	2.1	93.5 (92.7)	100.0	191.6	1.7	87.7 (87.3)	100.0
	25～29	245.5	0.8	112.4	224.8	1.6	91.6 (90.8)	110.0	210.5	1.6	85.7 (85.1)	109.9
	30～34	263.5	0.6	120.6	239.1	0.7	90.7 (90.6)	117.0	219.3	0.7	83.2 (83.1)	114.5
	35～39	276.7	-1.4	126.6	249.6	0.8	90.2 (88.2)	122.2	229.0	0.1	82.8 (81.5)	119.5
	40～44	292.0	0.4	133.6	261.0	1.0	89.4 (88.8)	127.8	235.3	1.3	80.6 (79.8)	122.8
	45～49	298.2	-0.5	136.5	265.5	0.7	89.0 (87.9)	130.0	237.9	1.1	79.8 (78.5)	124.2
	50～54	304.5	0.2	139.4	266.7	1.0	87.6 (86.9)	130.5	239.5	-0.6	78.7 (79.2)	125.0
	55～59	304.0	2.9	139.1	261.1	1.2	85.9 (87.3)	127.8	237.9	-0.9	78.3 (81.3)	124.2
	60～64	237.3	-2.1	108.6	221.4	0.7	93.3 (90.8)	108.4	212.8	-1.4	89.7 (89.1)	111.1
	65～69	242.9	-2.7	111.2	209.0	-0.5	86.0 (84.1)	102.3	193.4	-9.9	79.6 (85.9)	100.9
	70～	259.8	-8.6	118.9	223.9	4.3	86.2 (75.5)	109.6	200.2	-9.8	77.1 (78.1)	104.5
年齢(歳)	39.9			41.7				42.9				
勤続年数(年)	10.4			9.6				9.2				

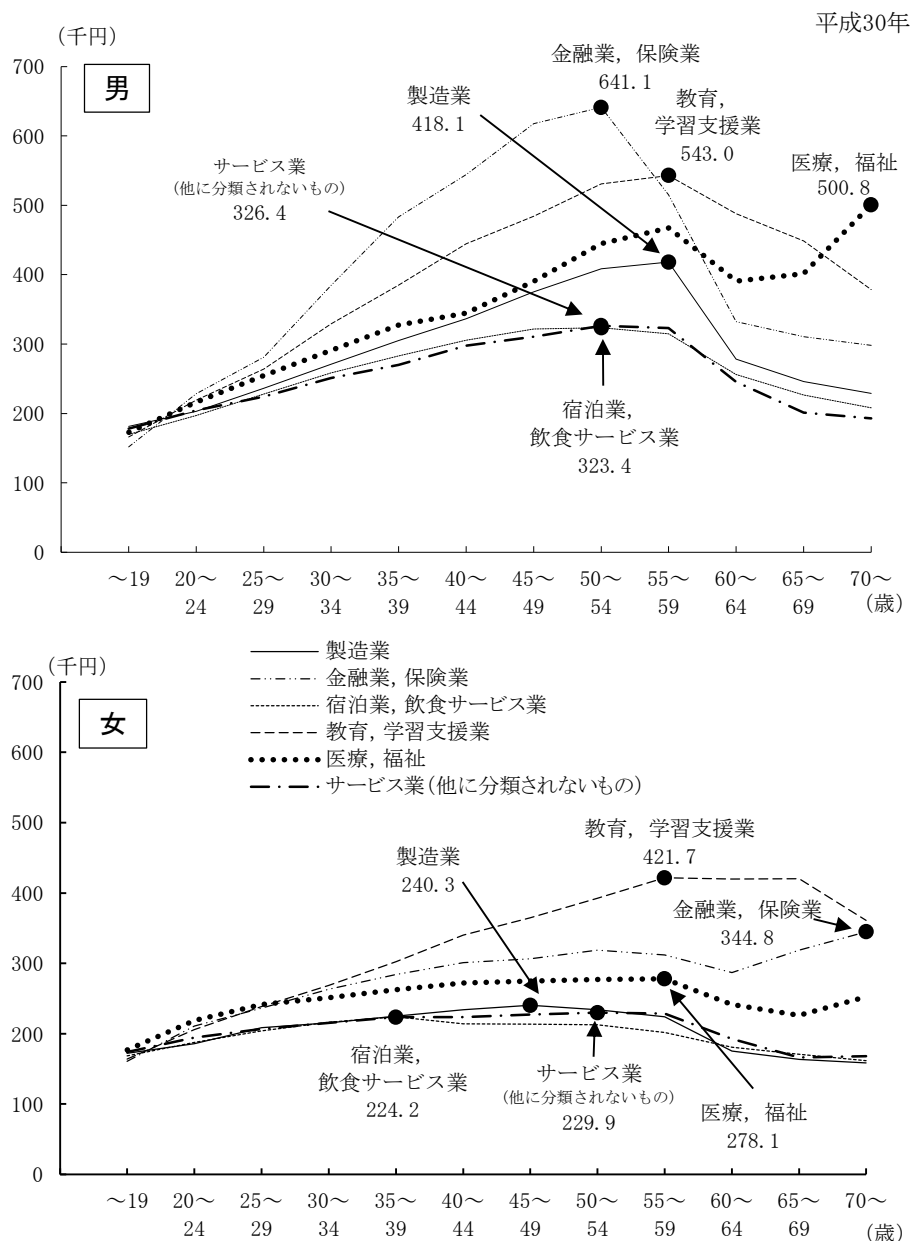
注：() 内は、平成29年の数値である。

(5) 主な産業別にみた賃金

主な産業別に賃金の伸びをみると、男性では、運輸業、郵便業（対前年増減率2.1%増）、生活関連サービス業、娯楽業（同2.1%増）、建設業（同1.5%増）、宿泊業、飲食サービス業（同1.4%）で伸びが大きくなっている。女性では、運輸業、郵便業（同4.1%増）、教育、学習支援業（同1.6%増）、製造業（同1.5%増）、宿泊業、飲食サービス業（同1.0%増）、医療、福祉（同0.9%増）でプラスの伸びとなっている。

賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は50～54歳で賃金がピークとなり、その後大きく下降している。また、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業（他に分類されないもの）は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、教育、学習支援業及び金融業、保険業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉及びサービス業（他に分類されないもの）は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第5図、第5表）

第5図 主な産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通 信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲食サー ビス業	生活関連 サービス 業、娯楽業	教育、 学習支 援業	医療、 福祉	平成30年 サービス業 (他に分類 されないもの)	
男	賃金(千円)	年齢計	349.1	320.3	399.6	289.0	346.4	470.4	415.8	275.1	297.2	439.5	340.2	273.7
	～19歳	189.6	181.5	169.5	177.7	173.4	151.8	178.8	169.7	178.0	166.1	172.8	178.1	
	20～24	224.4	203.2	237.5	214.7	211.3	228.4	228.9	196.9	206.5	219.3	216.1	204.5	
	25～29	257.6	236.3	272.7	241.0	248.7	281.0	274.8	228.1	236.6	264.1	254.4	224.3	
	30～34	302.0	271.1	323.3	275.6	288.2	384.6	342.2	258.4	270.1	328.9	290.8	251.2	
	35～39	330.4	305.3	372.5	298.6	329.2	483.2	410.4	282.7	313.0	385.1	327.3	269.9	
	40～44	375.2	336.3	430.5	308.9	365.9	544.3	445.1	305.4	339.5	444.6	344.4	297.7	
	45～49	418.7	375.4	480.1	315.6	405.0	617.7	480.6	321.7	357.6	484.2	390.3	310.5	
	50～54	434.3	408.4	525.7	322.0	442.8	641.1	524.9	323.4	362.7	530.7	444.6	326.4	
	55～59	426.0	418.1	533.9	316.3	431.6	515.3	544.9	314.6	342.7	543.0	467.5	323.2	
60～64	333.9	278.2	331.5	244.8	300.5	332.2	380.3	256.1	249.6	488.2	390.9	245.3		
65～69	285.7	246.2	292.9	220.8	245.0	310.7	314.8	226.5	212.9	448.7	401.6	201.0		
70～	245.8	228.7	360.2*	208.4	238.0	298.3	269.8	208.0	199.2	378.6	500.8	192.9		
賃金(年齢計)の 対前年増減率(%)	1.5	0.4	0.6	2.1	0.4	0.7	0.3	1.4	2.1	-0.2	0.2	-0.5		
年齢(歳)	44.9	42.6	41.1	47.5	43.0	43.3	43.4	41.9	41.9	46.7	41.3	46.2		
勤続年数(年)	14.4	15.5	14.1	12.7	14.7	16.1	13.9	9.5	10.8	13.4	9.1	10.1		
(20)24歳 100)	年齢計	155.6	157.6	168.3	134.6	163.9	206.0	181.7	139.7	143.9	200.4	157.4	133.8	
	～19歳	84.5	89.3	71.4	82.8	82.1	66.5	78.1	86.2	86.2	75.7	80.0	87.1	
	20～24	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	25～29	114.8	116.3	114.8	112.2	117.7	123.0	120.1	115.8	114.6	120.4	117.7	109.7	
	30～34	134.6	133.4	136.1	128.4	136.4	168.4	149.5	131.2	130.8	150.0	134.6	122.8	
	35～39	147.2	150.2	156.8	139.1	155.8	211.6	179.3	143.6	151.6	175.6	151.5	132.0	
	40～44	167.2	165.5	181.3	143.9	173.2	238.3	194.5	155.1	164.4	202.7	159.4	145.6	
	45～49	186.6	184.7	202.1	147.0	191.7	270.4	210.0	163.4	173.2	220.8	180.6	151.8	
	50～54	193.5	201.0	221.3	150.0	209.6	280.7	229.3	164.2	175.6	242.0	205.7	159.6	
	55～59	189.8	205.8	224.8	147.3	204.3	225.6	238.1	159.8	166.0	247.6	216.3	158.0	
60～64	148.8	136.9	139.6	114.0	142.2	145.4	166.1	130.1	120.9	222.6	180.9	120.0		
65～69	127.3	121.2	123.3	102.8	115.9	136.0	137.5	115.0	103.1	204.6	185.8	98.3		
70～	109.5	112.5	151.7	97.1	112.6	130.6	117.9	105.6	96.5	172.6	231.7	94.3		
女	賃金(千円)	年齢計	246.1	217.3	305.2	230.8	234.0	277.7	294.5	202.1	220.1	314.7	258.4	216.8
	～19歳	168.6	172.2	171.5	181.5	169.5	160.8	180.1	168.3	180.9	164.0	176.9	173.9	
	20～24	222.6	185.9	231.4	204.0	198.9	210.7	218.7	187.6	197.6	206.0	218.9	194.4	
	25～29	233.4	208.8	257.7	227.6	220.1	236.5	257.7	204.0	213.3	238.5	241.4	206.7	
	30～34	242.9	215.5	294.5	233.6	236.0	263.1	279.3	216.4	222.4	268.7	251.3	215.4	
	35～39	244.3	224.9	306.0	234.1	245.4	284.2	297.7	224.2	235.4	302.3	262.5	223.5	
	40～44	252.7	234.1	329.6	244.3	251.2	300.8	323.4	214.2	237.9	340.1	272.3	223.5	
	45～49	256.5	240.3	370.0	248.0	259.0	306.3	323.6	213.5	245.7	364.8	275.0	227.2	
	50～54	266.3	234.2	402.9	247.6	247.7	319.0	351.8	212.6	238.1	392.5	277.0	229.9	
	55～59	278.7	224.0	396.3	231.0	240.8	311.9	342.5	201.9	224.8	421.7	278.1	228.4	
60～64	226.2	175.5	219.7	187.7	194.2	286.9	267.2	180.9	191.7	419.9	241.7	192.8		
65～69	211.3	163.4*	218.8	180.5	184.6	319.0*	271.5	170.7	165.6	420.5	226.2	166.3		
70～	196.4	158.7*	260.2	184.9	198.8	344.8	235.6	161.5	162.4	361.2	252.7	168.0		
賃金(年齢計)の 対前年増減率(%)	0.9	1.5	-0.7	4.1	-0.9	-0.7	-0.1	1.0	-0.8	1.6	0.9	-0.5		
年齢(歳)	40.6	42.7	37.1	41.9	40.4	40.6	39.1	40.2	39.1	40.2	42.2	42.6		
勤続年数(年)	10.3	12.1	9.9	9.6	10.2	11.5	9.9	7.6	8.3	9.7	8.8	7.1		
(20)24歳 100)	年齢計	110.6	116.9	131.9	113.1	117.6	131.8	134.7	107.7	111.4	152.8	118.0	111.5	
	～19歳	75.7	92.6	74.1	89.0	85.2	76.3	82.4	89.7	91.5	79.6	80.8	89.5	
	20～24	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	25～29	104.9	112.3	111.4	111.6	110.7	112.2	117.8	108.7	107.9	115.8	110.3	106.3	
	30～34	109.1	115.9	127.3	114.5	118.7	124.9	127.7	115.4	112.6	130.4	114.8	110.8	
	35～39	109.7	121.0	132.2	114.8	123.4	134.9	136.1	119.5	119.1	146.7	119.9	115.0	
	40～44	113.5	125.9	142.4	119.8	126.3	142.8	147.9	114.2	120.4	165.1	124.4	115.0	
	45～49	115.2	129.3	159.9	121.6	130.2	145.4	148.0	113.8	124.3	177.1	125.6	116.9	
	50～54	119.6	126.0	174.1	121.4	124.5	151.4	160.9	113.3	120.5	190.5	126.5	118.3	
	55～59	125.2	120.5	171.3	113.2	121.1	148.0	156.6	107.6	113.8	204.7	127.0	117.5	
60～64	101.6	94.4	94.9	92.0	97.6	136.2	122.2	96.4	97.0	203.8	110.4	99.2		
65～69	94.9	87.9	94.6	88.5	92.8	151.4	124.1	91.0	83.8	204.1	103.3	85.5		
70～	88.2	85.4	112.4	90.6	99.9	163.6	107.7	86.1	82.2	175.3	115.4	86.4		

(6) 雇用形態別にみた賃金

雇用形態別の賃金をみると、男女計では、正社員・正職員323.9千円（前年比0.7%増、年齢41.9歳、勤続13.0年）に対し、正社員・正職員以外209.4千円（同0.7%減、年齢48.3歳、勤続8.7年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員351.1千円（前年比0.8%増）に対し、正社員・正職員以外232.5千円（同0.9%減）、女性では、正社員・正職員265.3千円（同0.6%増）に対し、正社員・正職員以外187.9千円（同0.9%減）となっている。

正社員・正職員以外の労働者は日給又は時給で働いている可能性が高いことから、正社員・正職員以外の賃金の減少は、所定内実労働時間数の減少によるものと推察される。

また、正社員・正職員以外の賃金の分布をみると、賃金の低い第1・十分位数、第1・四分位数は増加しているのに対し、中位数、第3・四分位数、第9・十分位数では減少している。また、正社員・正職員労働者数割合が84.3%から84.5%に上昇していることを踏まえると、比較的賃金の高い層が正規雇用化又は、高齢者層では短時間労働者に移行若しくは引退したものと推察される。

雇用形態間賃金格差（正社員・正職員=100）は、男女計で64.6（前年65.5）、男性で66.2（同67.3）、女性で70.8（同72.0）となっている。男女計でみると賃金格差が大きいのは、企業規模別では、大企業で58.6（同59.1）、主な産業別では、卸売業、小売業で59.3（同60.1）となっている。（第6-1表、第6図、第6-2表、第6-3表、第6-4表、第6-5表、第6-6表、付表11）

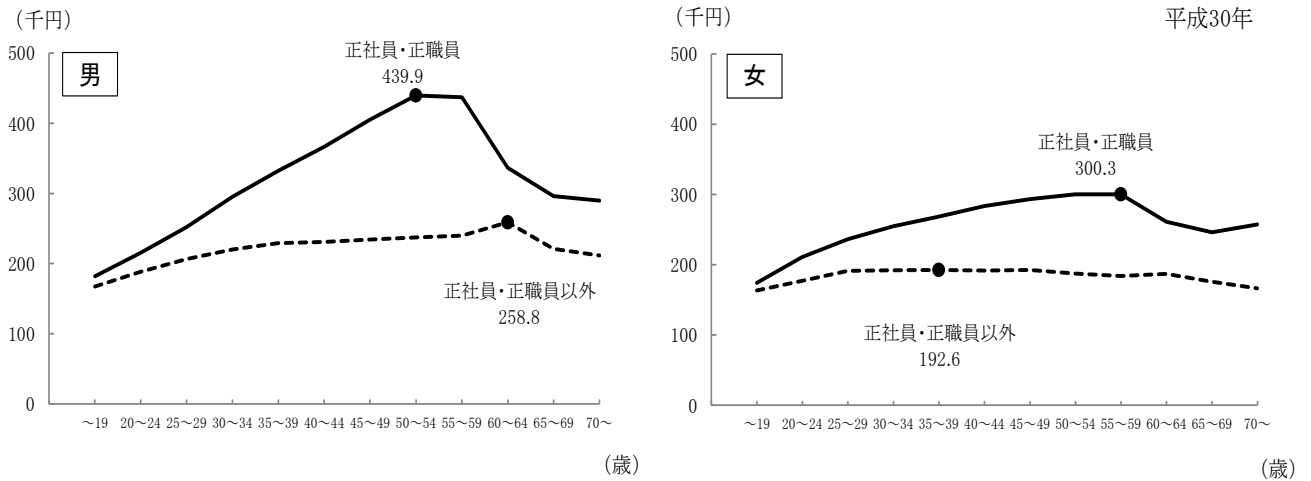
第6-1表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成30年

年齢階級	男女計					男					女				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
年齢計	323.9	0.7	209.4	-0.7	64.6 (65.5)	351.1	0.8	232.5	-0.9	66.2 (67.3)	265.3	0.6	187.9	-0.9	70.8 (72.0)
～19歳	179.2	1.4	165.5	0.8	92.4 (92.9)	181.8	0.6	167.4	1.8	92.1 (91.0)	174.1	2.5	163.5	-0.3	93.9 (96.5)
20～24	213.2	1.6	182.1	-0.9	85.4 (87.6)	215.2	1.1	188.5	-0.7	87.6 (89.1)	210.9	2.2	176.9	-1.0	83.9 (86.6)
25～29	245.7	0.6	198.2	-0.7	80.7 (81.7)	251.9	0.0	206.3	-1.6	81.9 (83.2)	236.3	1.6	191.3	0.0	81.0 (82.3)
30～34	282.4	0.5	204.9	-2.7	72.6 (74.9)	295.4	0.3	220.2	-3.9	74.5 (77.8)	254.8	0.8	192.3	-1.7	75.5 (77.4)
35～39	313.3	0.1	207.7	-1.3	66.3 (67.3)	332.2	0.3	229.3	-0.6	69.0 (69.7)	268.6	-0.3	192.6	-2.1	71.7 (73.1)
40～44	342.1	-0.3	205.6	-1.9	60.1 (61.1)	366.6	-0.1	230.7	-2.5	62.9 (64.5)	283.4	0.1	191.5	-1.4	67.6 (68.7)
45～49	372.8	-0.2	206.1	-0.4	55.3 (55.4)	405.2	0.1	234.4	-2.0	57.8 (59.1)	293.4	-0.6	192.4	0.3	65.6 (65.0)
50～54	400.0	0.3	204.3	-0.4	51.1 (51.4)	439.9	0.6	237.2	0.0	53.9 (54.3)	300.3	-0.1	187.3	-1.3	62.4 (63.1)
55～59	400.2	2.2	206.2	-1.8	51.5 (53.6)	437.2	2.0	239.8	-2.5	54.8 (57.4)	300.0	2.3	184.1	-1.0	61.4 (63.4)
60～64	316.7	1.2	236.5	2.2	74.7 (74.0)	336.5	2.0	258.8	2.7	76.9 (76.4)	261.1	-1.8	186.9	1.6	71.6 (69.2)
65～69	283.3	-0.5	208.2	-2.7	73.5 (75.1)	296.1	1.6	220.9	-3.0	74.6 (78.1)	246.1	-7.1	176.0	-1.2	71.5 (67.3)
70～	281.0	-2.8	199.5	-8.4	71.0 (75.3)	289.9	-2.1	211.6	-10.3	73.0 (79.7)	257.5	-5.3	166.2	-5.5	64.5 (64.7)
年齢(歳)	41.9		48.3			42.7		50.8			40.1		46.0		
勤続年数(年)	13.0		8.7			14.2		10.0			10.4		7.5		

注：()内は、平成29年の数値である。

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第6-2表 雇用形態別所定内実労働時間数及び賃金の推移

雇用形態	平成29年		平成30年			
	所定内実労働時間数(時間)	賃金(千円)	所定内実労働時間数(時間)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)
正社員・正職員	166	321.6	165	-0.6	323.9	0.7
正社員・正職員以外	163	210.8	161	-1.2	209.4	-0.7

第6-3表 正社員・正職員以外の賃金及び分布特性値の推移

区分		平成29年	平成30年	対前年
正社員・正職員以外	賃金(千円)	210.8	209.4	-0.7
	第1・十分位数 ¹⁾ (千円)	141.0	142.1	0.8
	第1・四分位数 ¹⁾ (千円)	160.0	160.6	0.4
	中位数 ¹⁾ (千円)	189.2	188.0	-0.6
	第3・四分位数 ¹⁾ (千円)	233.3	231.1	-0.9
	第9・十分位数 ¹⁾ (千円)	292.7	289.4	-1.1
	十分位分散係数 ²⁾	0.40	0.39	-0.01
四分位分散係数 ²⁾	0.19	0.19	0.00	

注：対前年について、賃金、分位数及び中位数は増減率、分散係数は増減差である。「分位数」、「中位数」及び「分散係数」については、第7表の注：1)、2)を参照。

第6-4表 雇用形態別労働者数、労働者構成割合及び対前年差

雇用形態	労働者構成割合(%) (一般労働者=100)		
	平成29年	平成30年	対前年差
一般労働者	100.0	100.0	0.0
正社員・正職員	84.3	84.5	0.2
正社員・正職員以外	15.7	15.5	-0.2

第6-5表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成30年

企業規模	男女計					男					女				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
大企業	375.9	0.5	220.1	-0.4	58.6 (59.1)	407.1	1.0	245.7	0.4	60.4 (60.7)	298.5	-0.4	195.8	-2.0	65.6 (66.7)
中企業	310.2	1.1	206.1	0.2	66.4 (67.0)	335.3	1.1	226.8	-0.6	67.6 (68.8)	261.8	1.0	187.0	0.8	71.4 (71.6)
小企業	277.8	0.1	195.1	-2.6	70.2 (72.2)	298.8	-0.2	217.7	-3.8	72.9 (75.6)	234.0	0.7	174.3	-1.7	74.5 (76.3)

注:()内は、平成29年の数値である。

第6-6表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成30年

主な産業	男女計					男					女				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
建設業	340.3	1.7	263.7	-5.7	77.5 (83.6)	354.3	2.0	277.3	-6.5	78.3 (85.4)	250.4	0.8	206.8	3.2	82.6 (80.6)
製造業	311.4	0.6	200.3	0.2	64.3 (64.6)	330.2	0.4	224.9	-0.3	68.1 (68.6)	233.9	1.5	171.3	0.9	73.2 (73.7)
情報通信業	386.0	-0.4	279.8	1.5	72.5 (71.1)	404.8	0.4	316.5	1.4	78.2 (77.4)	318.0	-2.2	230.0	-2.1	72.3 (72.3)
運輸業, 郵便業	292.6	1.8	209.8	6.0	71.7 (68.9)	298.1	1.9	222.8	6.4	74.7 (71.6)	252.2	3.2	175.7	2.9	69.7 (69.9)
卸売業, 小売業	332.3	1.1	197.2	-0.3	59.3 (60.1)	359.4	0.8	228.5	1.1	63.6 (63.4)	260.1	0.5	177.1	-2.1	68.1 (69.9)
金融業, 保険業	382.7	0.6	231.9	-5.4	60.6 (64.5)	482.2	0.7	278.9	-7.6	57.8 (63.1)	285.2	-0.7	204.2	-2.6	71.6 (73.0)
学術研究, 専門・技術サービス業	393.9	-0.2	292.5	0.3	74.3 (73.9)	422.1	0.2	339.5	-1.5	80.4 (81.9)	307.0	-1.4	233.8	3.5	76.2 (72.5)
宿泊業, 飲食サービス業	264.5	0.8	188.6	2.2	71.3 (70.3)	288.3	0.6	208.5	3.6	72.3 (70.2)	218.0	0.7	176.2	1.6	80.8 (80.1)
生活関連サービス業, 娯楽業	286.8	0.4	198.7	1.5	69.3 (68.5)	317.2	0.9	211.6	4.4	66.7 (64.5)	238.2	-1.3	191.1	0.0	80.2 (79.2)
教育, 学習支援業	398.6	0.9	253.0	-2.8	63.5 (65.9)	455.1	0.2	290.4	-5.2	63.8 (67.4)	329.8	1.9	224.8	-0.6	68.2 (69.9)
医療, 福祉	293.7	1.1	205.1	-0.7	69.8 (71.1)	352.7	0.8	234.3	-5.5	66.4 (70.8)	268.8	1.1	196.4	1.2	73.1 (73.0)
サービス業 (他に分類されないもの)	287.0	0.6	203.0	-2.5	70.7 (73.0)	301.6	0.7	209.5	-2.1	69.5 (71.5)	241.1	0.9	194.9	-3.8	80.8 (84.8)

注:()内は、平成29年の数値である。

(7) 賃金の分布

男女別に賃金の分布をみると、男性では、55～59歳までは年齢階級が高くなるとともに労働者割合が最も大きい賃金階級も高くなる傾向にある。一方、女性では、労働者割合が最も大きい賃金階級の年齢による違いは男性ほど大きくない。

賃金分布の広がりを分散係数でみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりをみると、男女とも30歳以上の各年齢階級で大学・大学院卒が他の学歴に比べ大きくなっており、年齢階級が高くなるほどその傾向は顕著となっている。（第7表、第7図、付表6）

第7表 賃金階級、性、年齢階級別労働者割合（2-1）

平成30年

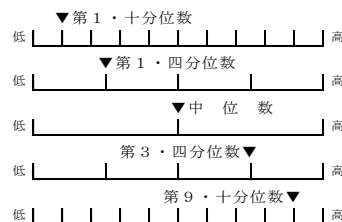
賃金階級	男													
	年齢計	19歳～	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
～ 99.9 (千円)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	
100.0 ～ 119.9	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	1.3	3.7	
120.0 ～ 139.9	0.8	2.2	1.4	0.8	0.6	0.3	0.4	0.3	0.3	0.6	1.8	4.7	6.4	
140.0 ～ 159.9	2.3	12.6	4.6	2.6	1.6	1.2	1.0	1.0	1.2	1.5	5.0	11.3	13.0	
160.0 ～ 179.9	4.3	41.5	12.0	4.7	2.9	2.4	2.0	1.9	2.2	2.8	8.5	13.7	14.0	
180.0 ～ 199.9	6.0	26.6	21.2	8.7	5.3	3.8	2.9	2.8	2.9	3.5	9.8	11.4	11.4	
200.0 ～ 219.9	7.5	9.4	24.0	14.5	7.9	5.3	4.2	3.6	3.3	4.0	11.1	11.1	10.7	
220.0 ～ 239.9	8.1	4.5	17.5	18.7	10.7	7.6	5.0	4.4	3.8	4.2	9.0	8.2	7.4	
240.0 ～ 259.9	8.1	1.5	9.2	16.2	12.7	9.2	6.8	5.0	4.4	4.1	8.7	7.9	7.4	
260.0 ～ 279.9	7.5	0.4	4.5	12.0	12.1	9.7	7.8	5.6	4.6	4.6	6.7	5.5	4.9	
280.0 ～ 299.9	6.6	0.7	2.0	7.7	10.5	9.5	7.8	6.0	4.8	4.6	5.3	3.9	2.6	
300.0 ～ 319.9	6.2	0.2	1.2	5.1	8.8	8.9	7.8	6.5	5.2	4.7	4.9	4.0	3.9	
320.0 ～ 339.9	5.3	0.0	0.9	2.7	6.7	7.7	7.2	6.2	5.0	4.8	3.6	2.9	2.1	
340.0 ～ 359.9	4.7	0.0	0.4	2.0	4.8	6.5	6.6	6.1	5.0	4.7	3.2	2.1	1.8	
360.0 ～ 399.9	7.7	-	0.5	2.0	6.6	9.5	11.2	10.9	9.4	9.5	4.7	2.7	2.2	
400.0 ～ 449.9	7.3	0.1	0.2	0.9	3.8	7.9	10.6	11.1	11.5	10.8	4.4	2.2	2.2	
450.0 ～ 499.9	5.1	-	0.1	0.5	2.0	4.4	6.6	8.4	8.7	8.7	3.0	1.4	1.0	
500.0 ～ 599.9	6.0	-	0.0	0.3	1.6	3.5	7.0	10.3	12.0	11.6	4.3	1.7	0.9	
600.0 ～ 699.9	3.1	-	0.0	0.2	0.5	1.1	2.6	5.1	7.7	7.1	2.2	1.2	0.6	
700.0 ～ 799.9	1.5	-	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0	2.3	3.8	3.6	1.2	0.9	0.7	
800.0 ～ 899.9	0.8	-	-	0.0	0.1	0.3	0.7	1.0	2.0	1.9	0.7	0.7	0.4	
900.0 ～ 999.9	0.4	-	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.6	1.0	0.9	0.3	0.2	0.2	
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7	0.6	0.4	0.8	
1200.0 ～	0.4	-	-	0.0	0.1	0.3	0.3	0.4	0.6	0.8	0.5	0.8	1.5	
平均値 (千円)	337.6	180.6	212.6	247.9	289.4	325.2	358.7	394.9	426.0	419.5	300.6	258.8	253.4	
第1・十分位数 ¹⁾ (千円)	188.3	153.7	168.2	184.5	198.4	209.5	218.0	221.7	220.2	207.4	166.7	149.0	139.1	
第1・四分位数 ¹⁾ (千円)	229.8	165.0	186.7	212.0	232.6	249.9	266.9	281.3	289.8	277.9	198.7	171.8	162.3	
中位数 ¹⁾ (千円)	295.7	177.0	208.8	239.8	273.4	302.3	331.4	361.9	390.3	384.1	250.6	212.8	202.0	
第3・四分位数 ¹⁾ (千円)	399.4	192.0	232.1	273.6	324.7	370.8	417.8	468.3	517.4	510.1	340.5	279.3	262.4	
第9・十分位数 ¹⁾ (千円)	533.0	212.6	259.7	314.7	387.9	455.3	519.4	596.7	668.2	662.5	496.7	383.3	366.9	
十分位分散係数 ²⁾	0.58	0.17	0.22	0.27	0.35	0.41	0.45	0.52	0.57	0.59	0.66	0.55	0.56	
	(0.58)	(0.18)	(0.23)	(0.28)	(0.37)	(0.41)	(0.46)	(0.51)	(0.56)	(0.57)	(0.64)	(0.60)	(0.64)	
四分位分散係数 ²⁾	0.29	0.08	0.11	0.13	0.17	0.20	0.23	0.26	0.29	0.30	0.28	0.25	0.25	
	(0.29)	(0.08)	(0.11)	(0.13)	(0.17)	(0.20)	(0.23)	(0.26)	(0.29)	(0.30)	(0.28)	(0.27)	(0.27)	

注：（ ）内は、平成29年の数値である。

1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者の低い者から高い者へと一列に並べたとき、以下の説明内容に該当する者の賃金である。

図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数は、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{○ 十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}} \quad \text{○ 四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

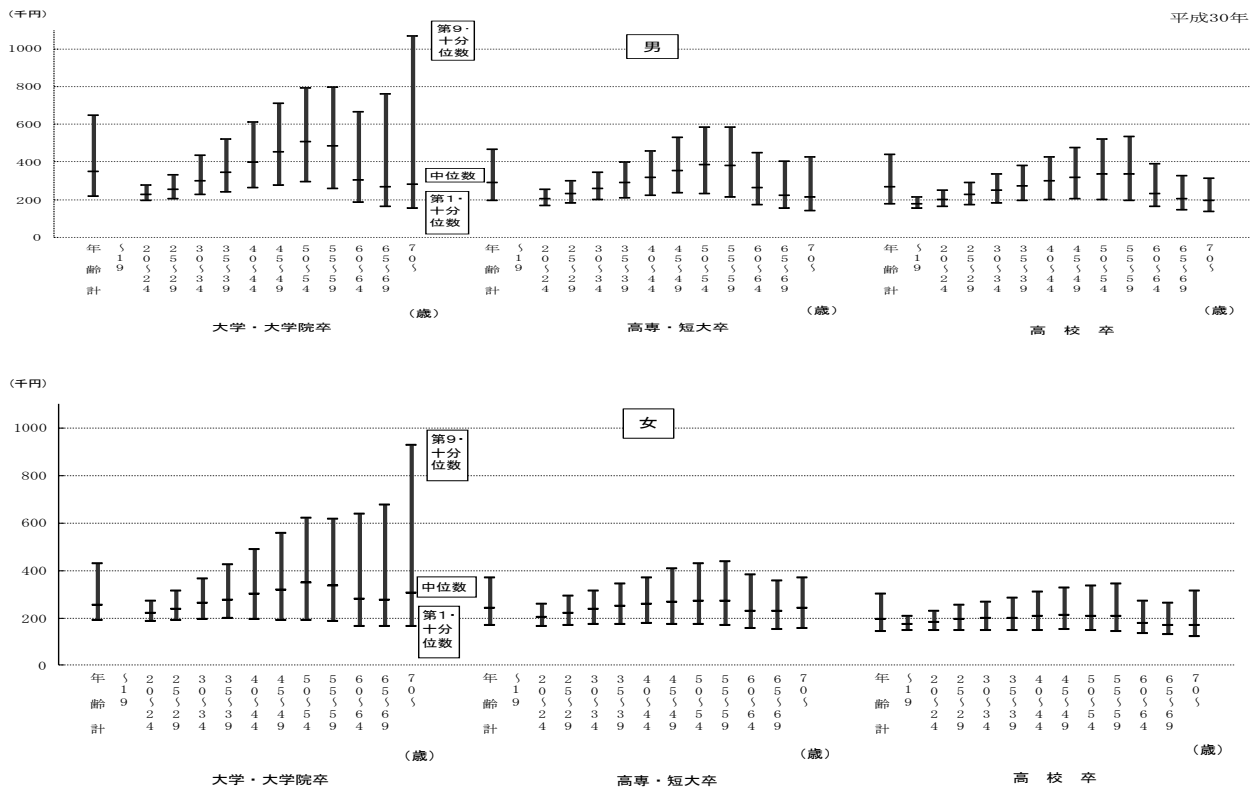
第7表 賃金階級、性、年齢階級別労働者割合（2-2）

平成30年

賃金階級	女												
	年齢計	19歳～	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.1
120.0 ～ 139.9	0.8	0.7	0.3	0.4	0.6	0.8	0.8	0.6	0.7	1.0	1.6	4.0	6.1
140.0 ～ 159.9	3.2	5.3	2.3	1.9	2.2	2.8	2.6	2.8	3.1	4.0	7.9	11.8	13.5
160.0 ～ 179.9	7.8	21.2	7.6	5.4	6.0	5.9	6.2	7.0	8.0	9.5	16.3	18.7	19.2
180.0 ～ 199.9	10.9	42.1	15.6	8.8	8.5	8.7	8.9	9.5	10.8	11.1	17.0	17.2	13.5
200.0 ～ 219.9	12.0	18.9	21.4	13.1	10.7	10.0	10.1	10.1	10.5	9.8	12.1	11.8	9.5
220.0 ～ 239.9	11.9	7.5	20.8	17.0	12.9	10.6	9.5	9.4	9.1	8.1	10.3	8.0	7.0
240.0 ～ 259.9	10.8	3.1	14.5	17.1	13.0	10.8	8.8	8.5	8.0	8.7	7.0	5.8	4.2
260.0 ～ 279.9	9.5	0.7	8.2	12.8	11.9	11.8	9.6	8.4	8.0	7.4	6.1	4.9	6.3
280.0 ～ 299.9	7.3	0.4	4.6	8.5	10.0	9.1	8.6	7.6	6.1	6.3	4.3	3.4	3.4
300.0 ～ 319.9	5.6	0.1	2.0	5.5	7.3	7.0	7.3	6.4	5.8	5.5	2.9	1.9	1.6
320.0 ～ 359.9	4.4	0.0	1.1	3.6	5.2	5.8	5.6	5.3	4.9	4.6	2.9	2.5	2.0
360.0 ～ 399.9	6.0	-	1.0	3.5	5.8	7.4	9.0	8.0	7.4	7.1	3.5	2.9	3.8
400.0 ～ 449.9	3.5	-	0.2	1.1	2.7	4.1	5.1	5.8	5.1	4.8	1.9	1.4	2.3
450.0 ～ 499.9	2.5	-	0.2	0.6	1.3	2.2	3.5	4.4	4.7	4.2	1.5	1.6	2.3
500.0 ～ 599.9	1.4	-	0.0	0.2	0.6	1.1	1.6	2.4	2.7	2.8	1.3	0.6	0.9
600.0 ～ 699.9	1.3	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.4	2.1	2.7	3.2	1.3	1.0	1.2
700.0 ～ 799.9	0.5	-	0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.8	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8
800.0 ～ 899.9	0.3	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.4	0.6	0.5
900.0 ～ 999.9	0.1	-	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1
1000.0 ～	0.1	-	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.7
平均値 (千円)	247.5	172.6	206.5	229.6	243.4	253.6	264.1	268.7	270.6	266.5	222.6	208.7	215.8
第1・十分位数 ¹⁾ (千円)	156.0	146.2	159.6	165.2	162.7	161.2	161.0	158.7	155.9	151.3	140.4	131.6	124.2
第1・四分位数 ¹⁾ (千円)	183.8	158.5	179.1	193.4	194.3	193.5	192.5	189.2	184.2	178.9	158.9	150.0	145.0
中位数 ¹⁾ (千円)	226.1	170.0	202.6	223.8	233.7	240.6	246.2	244.8	239.2	235.1	190.8	177.0	174.1
第3・四分位数 ¹⁾ (千円)	282.6	184.8	228.6	257.4	277.9	292.0	308.5	317.2	319.5	315.2	248.2	228.6	244.7
第9・十分位数 ¹⁾ (千円)	358.7	204.0	257.9	297.2	328.2	354.4	379.6	404.2	423.0	422.5	334.7	313.8	353.5
十分位分散係数 ²⁾	0.45	0.17	0.24	0.29	0.35	0.40	0.44	0.50	0.56	0.58	0.51	0.51	0.66
	(0.46)	(0.17)	(0.24)	(0.30)	(0.36)	(0.42)	(0.46)	(0.51)	(0.57)	(0.57)	(0.54)	(0.54)	(0.69)
四分位分散係数 ²⁾	0.22	0.08	0.12	0.14	0.18	0.20	0.24	0.26	0.28	0.29	0.23	0.22	0.29
	(0.22)	(0.08)	(0.12)	(0.14)	(0.18)	(0.21)	(0.24)	(0.26)	(0.29)	(0.29)	(0.25)	(0.23)	(0.30)

注：（ ）内は、平成29年の数値である。
「分位数」、「中位数」及び「分散係数」については前頁第7表の注:1)、2)を参照。

第7図 性、学歴、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数

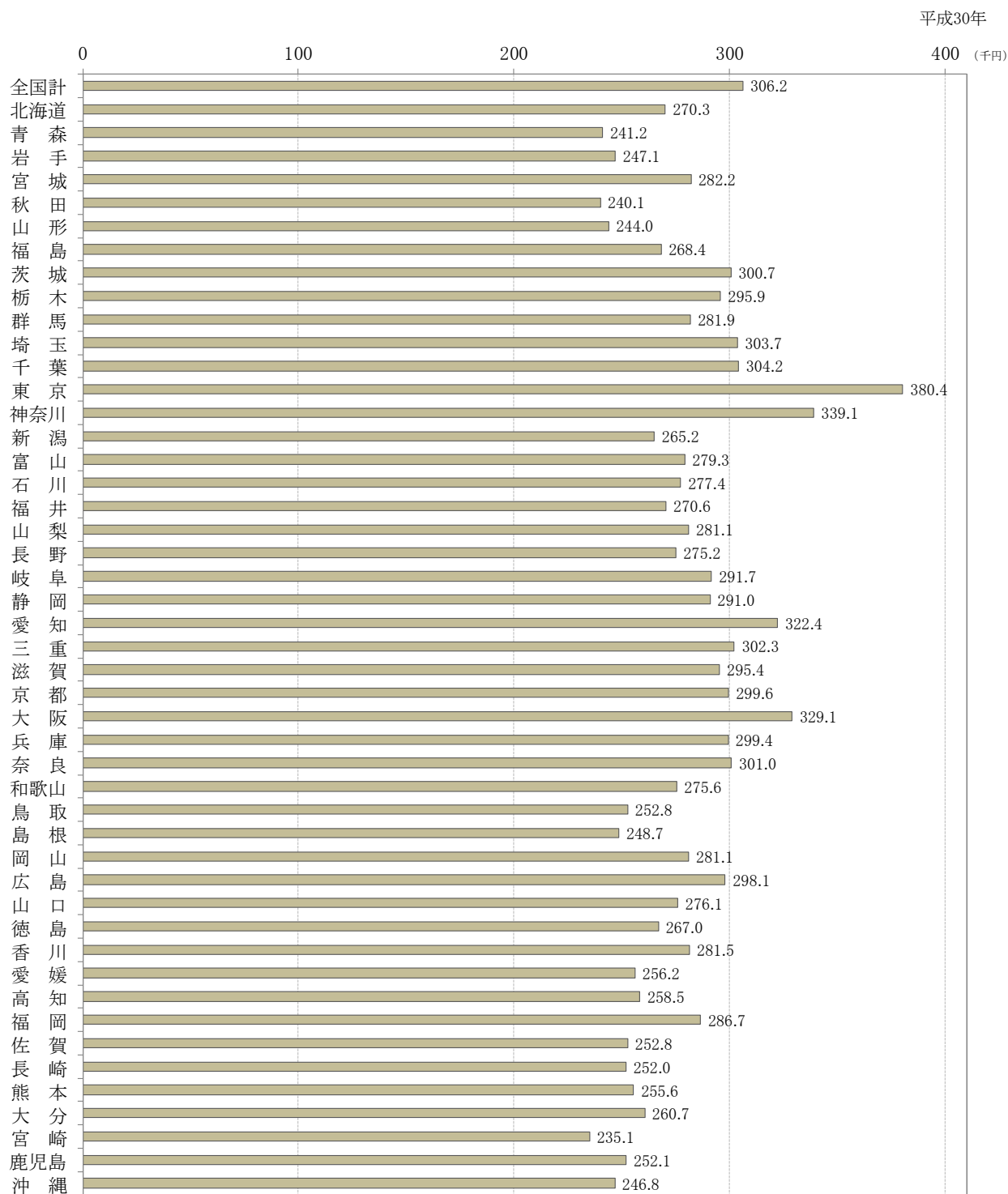


注：「分位数」及び「中位数」については前頁第7表の注を参照。

(8) 都道府県別にみた賃金

都道府県別の賃金をみると、全国計（306.2千円）よりも賃金が高かったのは4都府県（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府）となっており、最も高かったのは、東京都（380.4千円）となっている（第8図）。

第8図 都道府県別賃金（男女計）



(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者、管理・事務・技術労働者ともに55～59歳でそれぞれ329.1千円、506.7千円、女性では、生産労働者が45～49歳で202.1千円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で290.6千円となっている（第8表）。

第8表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

平成30年

年齢階級	男						女					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	271.7	0.4	135.7	396.2	1.6	182.7	187.6	1.1	105.1	258.3	2.2	129.0
19歳～	181.6	0.6	90.7	180.1	4.8	83.1	172.2	2.1	96.5	172.2	1.9	86.0
20～24	200.2	-0.6	100.0	216.8	2.1	100.0	178.5	1.0	100.0	200.3	1.6	100.0
25～29	227.1	-0.4	113.4	255.0	0.4	117.6	191.5	1.9	107.3	227.8	2.3	113.7
30～34	251.0	0.3	125.4	307.0	-0.3	141.6	190.4	0.3	106.7	244.6	1.3	122.1
35～39	275.1	0.1	137.4	356.7	1.3	164.5	192.9	0.4	108.1	258.9	1.8	129.3
40～44	295.7	-0.4	147.7	398.5	0.7	183.8	196.2	1.0	109.9	269.0	-0.6	134.3
45～49	317.4	1.2	158.5	447.2	0.2	206.3	202.1	2.4	113.2	282.1	-0.7	140.8
50～54	327.9	0.8	163.8	487.8	0.8	225.0	194.2	1.2	108.8	288.9	2.8	144.2
55～59	329.1	1.7	164.4	506.7	1.8	233.7	189.0	2.0	105.9	290.6	6.7	145.1
60～64	235.5	-0.3	117.6	340.6	6.9	157.1	162.1	0.2	90.8	218.0	4.8	108.8
65～69	217.4	2.5	108.6	319.3	4.7	147.3	155.2	-2.1	86.9	196.8	-3.0	98.3
70～	208.4	-5.4	104.1	277.6	0.0	128.0	146.5	-4.1	82.1	205.2	-22.0	102.4
年齢(歳)	41.2			44.8			43.4			41.9		
勤続年数(年)	13.9			18.0			11.1			13.5		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業に属する雇用期間の定めのない労働者について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級659.8千円（前年比0.7%増）、課長級536.8千円（同2.0%増）、係長級401.0千円（同0.2%減）、女性では、部長級592.7千円（同1.5%減）、課長級460.1千円（同2.4%減）、係長級353.7千円（同0.8%増）となっている（第9表）。

第9表 役職、性別賃金、対前年増減率及び役職・非役職間賃金格差
(企業規模100人以上)

平成30年

役職	男				女			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間 賃金格差 (非役職者20～ 24歳=100)	年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間 賃金格差 (非役職者20～ 24歳=100)	年齢 (歳)
部長級	659.8	0.7	304.3 (304.9)	52.6	592.7	-1.5	275.3 (284.7)	52.2
課長級	536.8	2.0	247.6 (245.0)	48.5	460.1	-2.4	213.7 (223.0)	48.7
係長級	401.0	-0.2	185.0 (186.9)	44.9	353.7	0.8	164.3 (166.1)	45.3
非役職者 (20～24歳)	216.8	0.9	100.0 (100.0)		215.3	1.9	100.0 (100.0)	

注: ()内は、平成29年の数値である。

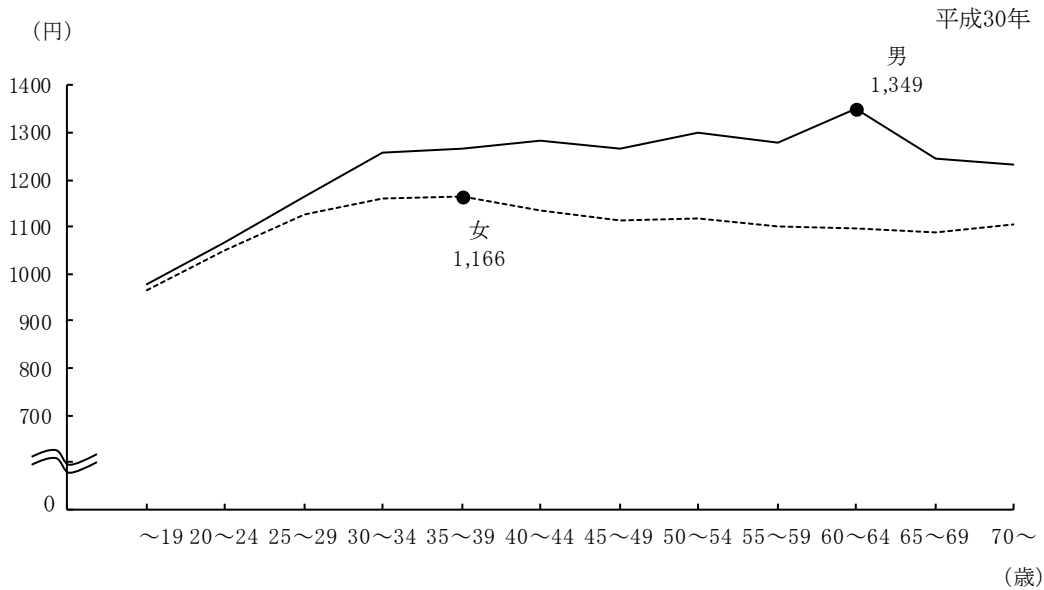
2 短時間労働者の賃金

(1) 性、年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間あたり賃金は、男女計1,128円（前年比2.9%増）、男性1,189円（同3.0%増）、女性1,105円（同2.9%増）となっている。

男女別に、年齢階級別でみると、男性、女性ともに、20～24歳以降で1,000円を超えており、最も賃金が高い年齢階級は、男性では、60～64歳で1,349円、女性では、35～39歳で1,166円となっている。（第9図、第10表）

第9図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金



第10表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男女計			男			女		
	1時間 あたり賃金 (円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	1時間 あたり賃金 (円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	1時間 あたり賃金 (円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,128	2.9	106.5	1,189	3.0	111.2	1,105	2.9	105.2
～19歳	970	2.8	91.6	977	2.6	91.4	965	2.9	91.9
20～24	1,059	3.2	100.0	1,069	3.1	100.0	1,050	3.4	100.0
25～29	1,140	3.8	107.6	1,164	4.8	108.9	1,126	3.1	107.2
30～34	1,184	2.9	111.8	1,258	4.8	117.7	1,162	2.2	110.7
35～39	1,180	2.3	111.4	1,266	2.1	118.4	1,166	2.6	111.0
40～44	1,154	3.8	109.0	1,282	2.0	119.9	1,136	3.9	108.2
45～49	1,129	2.7	106.6	1,267	1.8	118.5	1,112	3.0	105.9
50～54	1,136	3.5	107.3	1,301	5.3	121.7	1,116	3.3	106.3
55～59	1,125	2.8	106.2	1,279	6.1	119.6	1,102	2.3	105.0
60～64	1,162	3.5	109.7	1,349	6.0	126.2	1,095	2.7	104.3
65～69	1,155	1.9	109.1	1,246	1.1	116.6	1,089	2.6	103.7
70～	1,164	0.8	109.9	1,230	1.2	115.1	1,107	1.0	105.4
年齢(歳)	46.3			44.6			46.9		
勤続年数(年)	6.0			5.3			6.3		
実労働日数(日)	15.8			14.8			16.2		
1日あたり所定内 実労働時間数(時間)	5.4			5.4			5.3		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,146円（前年比3.0%増）、中企業が1,226円（同3.2%増）、小企業が1,212円（同2.7%増）、女性では、大企業が1,109円（同3.0%増）、中企業が1,124円（同2.9%増）、小企業が1,082円（同2.6%増）となっている（第11表）。

第11表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	平成30年					
	男			女		
	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	企業規模間賃金格差(大企業=100)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	企業規模間賃金格差(大企業=100)
大企業	1,146	3.0	100.0	1,109	3.0	100.0
中企業	1,226	3.2	107.0	1,124	2.9	101.4
小企業	1,212	2.7	105.8	1,082	2.6	97.6

(3) 主な産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金の伸びをみると、男性では、運輸業、郵便業（対前年増減率4.2%増）、宿泊業、飲食サービス業（同4.3%増）で、女性で宿泊業、飲食サービス業（同3.7%増）で伸びが大きくなっている。

また、男性では、全ての主な産業で、女性では、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉及びサービス業（他に分類されないもの）で1,000円を超えている（第12表）。

第12表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	産業間賃金格差(産業計=100)
男	産業計 ¹⁾	1,189	3.0	100.0
	製造業	1,230	2.2	103.4
	運輸業、郵便業	1,260	4.2	106.0
	卸売業、小売業	1,068	2.4	89.8
	宿泊業、飲食サービス業	1,033	4.3	86.9
	サービス業(他に分類されないもの)	1,202	2.8	101.1
女	産業計 ¹⁾	1,105	2.9	100.0
	製造業	995	2.7	90.0
	卸売業、小売業	1,019	2.3	92.2
	宿泊業、飲食サービス業	1,002	3.7	90.7
	医療、福祉	1,287	2.3	116.5
	サービス業(他に分類されないもの)	1,083	2.0	98.0

注：1) 産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、更に、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

(4) 賃金の推移

1時間当たり賃金の推移をみると、男女計、男性、女性のいずれも増加傾向が続いており、平成30年調査では対前年増減率が前年までと比べて大きくなっている（第13表）。

第13表 短時間労働者の性別1時間当たり賃金及び対前年増減率の推移

性	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)
男女計	1,030	0.4	1,041	1.1	1,059	1.7	1,075	1.5	1,096	2.0	1,128	2.9
年齢(歳)	44.7	/	45.0	/	45.4	/	45.5	/	45.8	/	46.3	/
勤続年数(年)	5.6	/	5.6	/	5.7	/	5.7	/	5.8	/	6.0	/
実労働日数(日)	16.7	/	16.7	/	16.5	/	16.3	/	16.1	/	15.8	/
1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.3	/	5.3	/	5.3	/	5.3	/	5.3	/	5.4	/
男	1,095	0.1	1,120	2.3	1,133	1.2	1,134	0.1	1,154	1.8	1,189	3.0
年齢(歳)	42.7	/	43.4	/	43.9	/	43.9	/	44.4	/	44.6	/
勤続年数(年)	5.0	/	5.1	/	5.3	/	5.1	/	5.2	/	5.3	/
実労働日数(日)	15.8	/	15.8	/	15.6	/	15.4	/	15.2	/	14.8	/
1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.4	/	5.4	/	5.5	/	5.5	/	5.4	/	5.4	/
女	1,007	0.6	1,012	0.5	1,032	2.0	1,054	2.1	1,074	1.9	1,105	2.9
年齢(歳)	45.5	/	45.6	/	45.9	/	46.0	/	46.4	/	46.9	/
勤続年数(年)	5.8	/	5.8	/	5.8	/	5.9	/	6.1	/	6.3	/
実労働日数(日)	17.0	/	17.0	/	16.8	/	16.6	/	16.5	/	16.2	/
1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.2	/	5.3	/	5.3	/	5.3	/	5.3	/	5.3	/

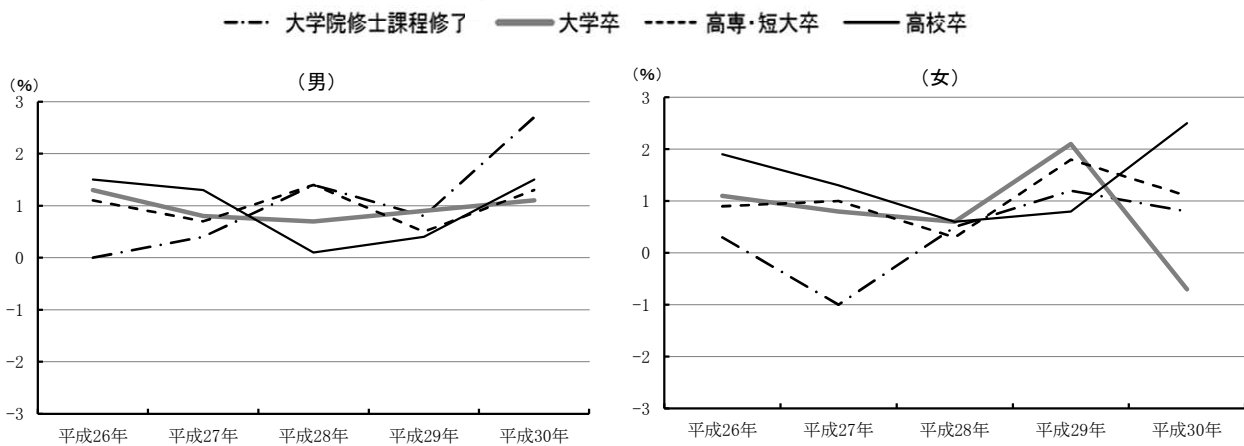
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成30年の初任給を学歴別にみると、男女計では全ての学歴で、男女別では女性の大学卒を除いた全ての学歴で前年を上回っている（第10図、第14表、第11図）。

男女計	大学院修士課程修了	238.7千円	(対前年増減率 2.3%)
	大学卒	206.7千円	(" 0.3%)
	高専・短大卒	181.4千円	(" 1.2%)
	高校卒	165.1千円	(" 1.9%)
男性	大学院修士課程修了	239.9千円	(対前年増減率 2.7%)
	大学卒	210.1千円	(" 1.1%)
	高専・短大卒	182.9千円	(" 1.3%)
	高校卒	166.6千円	(" 1.5%)
女性	大学院修士課程修了	234.2千円	(対前年増減率 0.8%)
	大学卒	202.6千円	(" -0.7%)
	高専・短大卒	180.4千円	(" 1.1%)
	高校卒	162.3千円	(" 2.5%)

第10図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移

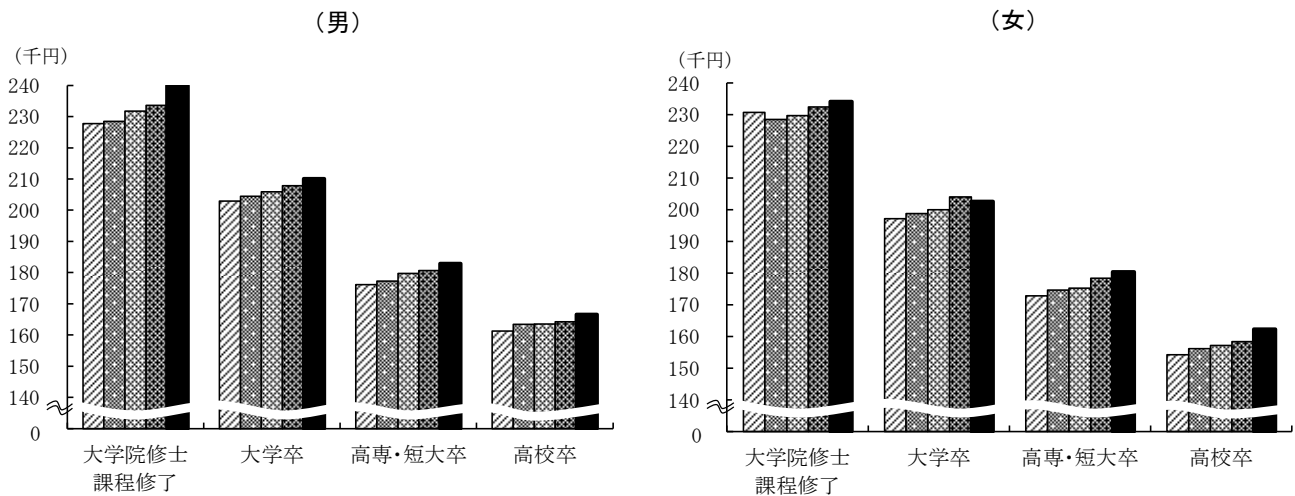


第14表 性、学歴別初任給の推移

性、学歴		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
		初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)
男女計	大学院修士課程修了	228.3	0.1	228.5	0.1	231.4	1.3	233.4	0.9	238.7	2.3
	大学卒	200.4	1.2	202.0	0.8	203.4	0.7	206.1	1.3	206.7	0.3
	高専・短大卒	174.1	1.1	175.6	0.9	176.9	0.7	179.2	1.3	181.4	1.2
	高校卒	158.8	1.8	160.9	1.3	161.3	0.2	162.1	0.5	165.1	1.9
男	大学院修士課程修了	227.7	0.0	228.5	0.4	231.7	1.4	233.6	0.8	239.9	2.7
	大学卒	202.9	1.3	204.5	0.8	205.9	0.7	207.8	0.9	210.1	1.1
	高専・短大卒	176.1	1.1	177.3	0.7	179.7	1.4	180.6	0.5	182.9	1.3
	高校卒	161.3	1.5	163.4	1.3	163.5	0.1	164.2	0.4	166.6	1.5
女	大学院修士課程修了	230.7	0.3	228.5	-1.0	229.7	0.5	232.4	1.2	234.2	0.8
	大学卒	197.2	1.1	198.8	0.8	200.0	0.6	204.1	2.1	202.6	-0.7
	高専・短大卒	172.8	0.9	174.6	1.0	175.2	0.3	178.4	1.8	180.4	1.1
	高校卒	154.2	1.9	156.2	1.3	157.2	0.6	158.4	0.8	162.3	2.5

第11図 性、学歴別初任給の推移

▨平成26年 ▩平成27年 ▪平成28年 ▫平成29年 ■平成30年



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男性は大企業（常用労働者1,000人以上）で214.2千円、中企業（同100～999人）で207.0千円、小企業（同10～99人）で203.1千円、女性は大企業で205.8千円、中企業で200.7千円、小企業で197.0千円となっており、女性の大企業を除き、前年を上回っている。また、高校卒では、男性は大企業で167.0千円、中企業で165.2千円、小企業で168.9千円、女性は大企業で165.6千円、中企業で162.0千円、小企業で159.1千円となっており、いずれも前年を上回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業=100）をみると、大学卒では、男性は中企業で96.6、小企業で94.8、女性は中企業で97.5、小企業で95.7となっている。また、高校卒では、男性は中企業で98.9、小企業で101.1、女性は中企業で97.8、小企業で96.1となっており、男性の小企業では、前年に引き続き大企業を上回っている。（第15表）

第15表 性、企業規模、学歴別初任給、対前年増減率及び企業規模間格差

性、企業規模 ¹⁾		大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒			
		初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	
		平成30年	29年		平成30年	29年		平成30年	29年		平成30年	29年		
初任給及び対前年増減率	男女計	企業規模計	238.7	233.4	2.3	206.7	206.1	0.3	181.4	179.2	1.2	165.1	162.1	1.9
		大企業	237.6	237.3	0.1	210.5	211.0	-0.2	186.0	183.0	1.6	166.5	164.0	1.5
		中企業	243.6	224.8	8.4	204.2	202.5	0.8	180.2	178.6	0.9	164.0	160.7	2.1
		小企業	222.3	222.2	0.0	200.0	199.6	0.2	179.6	177.6	1.1	165.2	162.3	1.8
	男	企業規模計	239.9	233.6	2.7	210.1	207.8	1.1	182.9	180.6	1.3	166.6	164.2	1.5
		大企業	237.4	236.8	0.3	214.2	212.6	0.8	185.1	183.4	0.9	167.0	164.9	1.3
		中企業	247.8	224.9	10.2	207.0	203.9	1.5	181.5	179.7	1.0	165.2	162.5	1.7
		小企業	228.1	228.2	0.0	203.1	202.9	0.1	183.2	179.1	2.3	168.9	166.6	1.4
	女	企業規模計	234.2	232.4	0.8	202.6	204.1	-0.7	180.4	178.4	1.1	162.3	158.4	2.5
		大企業	238.6	239.6	-0.4	205.8	209.2	-1.6	187.0	182.6	2.4	165.6	161.7	2.4
		中企業	231.8	224.7	3.2	200.7	200.6	0.0	179.3	177.8	0.8	162.0	158.0	2.5
		小企業	211.1	209.5	0.8	197.0	196.5	0.3	178.3	177.2	0.6	159.1	156.0	2.0
企業規模間格差 ²⁾	男女計	中企業	102.5	94.7	/	97.0	96.0	/	96.9	97.6	/	98.5	98.0	/
		小企業	93.6	93.6	/	95.0	94.6	/	96.6	97.0	/	99.2	99.0	/
	男	中企業	104.4	95.0	/	96.6	95.9	/	98.1	98.0	/	98.9	98.5	/
		小企業	96.1	96.4	/	94.8	95.4	/	99.0	97.7	/	101.1	101.0	/
	女	中企業	97.2	93.8	/	97.5	95.9	/	95.9	97.4	/	97.8	97.7	/
		小企業	88.5	87.4	/	95.7	93.9	/	95.3	97.0	/	96.1	96.5	/

注：1) 企業規模については、常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。

2) 企業規模間格差については、大企業の初任給を100としている。

(3) 主な産業別にみた初任給

主な産業について初任給を学歴別にみると、大学卒では、男性は「学術研究，専門・技術サービス業」（226.8千円）、「建設業」（217.1千円）、女性は「学術研究，専門・技術サービス業」（220.7千円）、「情報通信業」（213.9千円）が高くなっている。高校卒では、男性は「建設業」（173.3千円）、「サービス業（他に分類されないもの）」（168.7千円）、女性は「運輸業，郵便業」（168.3千円）、「学術研究，専門・技術サービス業」（165.9千円）が高くなっている。（第16表）

第16表 性、主な産業、学歴別初任給及び対前年増減率

性、産業	大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	
	平成30年	29年		平成30年	29年		平成30年	29年		平成30年	29年		
男 計	産 業 計 ¹⁾	238.7	233.4	2.3	206.7	206.1	0.3	181.4	179.2	1.2	165.1	162.1	1.9
	建 設 業	233.4	237.1	-1.6	214.6	208.7	2.8	190.5	181.7	4.8	172.3	169.7	1.5
	製 造 業	233.9	230.9	1.3	205.2	203.2	1.0	179.7	177.7	1.1	164.3	162.2	1.3
	情 報 通 信 業	235.3	237.4	-0.9	215.8	215.0	0.4	188.7	189.3	-0.3	164.6	164.6	0.0
	運 輸 業， 郵 便 業	231.8	217.2	6.7	198.6	195.0	1.8	182.2	173.6	5.0	168.5	160.5	5.0
	卸 売 業， 小 売 業	233.5	240.1	-2.7	205.5	207.2	-0.8	177.9	176.4	0.9	165.1	161.6	2.2
	金 融 業， 保 険 業	241.5	229.5	5.2	204.6	205.4	-0.4	167.8	170.7	-1.7	148.9	148.8	0.1
	学術研究，専門・技術サービス業	266.5	236.1	12.9	224.5	213.9	5.0	180.6	182.6	-1.1	167.6	166.7	0.5
	宿泊業，飲食サービス業	* 216.2	* 193.7	11.6	198.1	194.5	1.9	175.7	168.2	4.5	164.9	157.6	4.6
	教育，学習支援業	232.4	247.0	-5.9	205.9	206.4	-0.2	182.9	179.2	2.1	159.2	157.3	1.2
女 計	医 療， 福 祉 サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	201.3	204.3	-1.5	201.5	204.9	-1.7	183.7	183.0	0.4	159.2	159.1	0.1
	223.0	220.6	1.1	202.0	199.2	1.4	178.9	175.9	1.7	167.1	163.5	2.2	
	産 業 計 ¹⁾	239.9	233.6	2.7	210.1	207.8	1.1	182.9	180.6	1.3	166.6	164.2	1.5
	建 設 業	232.8	236.2	-1.4	217.1	210.9	2.9	191.4	183.1	4.5	173.3	171.0	1.3
	製 造 業	233.9	231.4	1.1	205.3	204.4	0.4	181.7	178.7	1.7	165.2	163.5	1.0
	情 報 通 信 業	235.9	236.5	-0.3	216.9	214.3	1.2	192.7	188.1	2.4	165.0	163.6	0.9
	運 輸 業， 郵 便 業	232.2	216.1	7.5	202.0	197.3	2.4	184.2	174.2	5.7	168.5	160.5	5.0
	卸 売 業， 小 売 業	233.8	241.1	-3.0	207.9	207.3	0.3	178.2	177.0	0.7	166.1	164.6	0.9
	金 融 業， 保 険 業	243.4	228.3	6.6	210.8	210.1	0.3	178.2	193.4	-7.9	143.2	147.0	-2.6
	学術研究，専門・技術サービス業	270.9	237.6	14.0	226.8	217.0	4.5	181.5	183.6	-1.1	168.2	168.4	-0.1
宿泊業，飲食サービス業	* 215.7	-	-	201.7	199.7	1.0	170.2	168.2	1.2	166.5	159.2	4.6	
教育，学習支援業	236.5	244.9	-3.4	212.0	213.9	-0.9	176.2	177.0	-0.5	159.0	164.2	-3.2	
医療，福祉 サービス業 (他に分類されないもの)	208.9	199.0	5.0	205.0	202.9	1.0	190.1	189.5	0.3	160.1	166.4	-3.8	
* 225.7	224.1	0.7	203.8	200.2	1.8	182.1	179.3	1.6	168.7	164.5	2.6		
女	産 業 計 ¹⁾	234.2	232.4	0.8	202.6	204.1	-0.7	180.4	178.4	1.1	162.3	158.4	2.5
	建 設 業	236.4	242.3	-2.4	207.4	202.8	2.3	186.5	178.5	4.5	162.0	162.1	-0.1
	製 造 業	234.0	227.9	2.7	204.9	200.8	2.0	175.8	175.5	0.2	161.5	158.7	1.8
	情 報 通 信 業	233.1	240.7	-3.2	213.9	216.4	-1.2	179.9	192.2	-6.4	164.0	165.6	-1.0
	運 輸 業， 郵 便 業	230.2	223.6	3.0	195.1	191.9	1.7	179.7	173.3	3.7	168.3	160.6	4.8
	卸 売 業， 小 売 業	232.5	236.7	-1.8	202.1	207.0	-2.4	177.4	175.8	0.9	164.2	158.7	3.5
	金 融 業， 保 険 業	234.0	233.2	0.3	199.4	201.9	-1.2	167.1	169.3	-1.3	149.8	148.9	0.6
	学術研究，専門・技術サービス業	252.3	231.1	9.2	220.7	210.0	5.1	179.5	181.6	-1.2	165.9	159.2	4.2
	宿泊業，飲食サービス業	* 217.2	* 193.7	12.1	195.6	192.1	1.8	178.4	168.3	6.0	164.0	156.9	4.5
	教育，学習支援業	226.6	249.7	-9.3	203.0	203.2	-0.1	183.3	179.4	2.2	159.3	149.2	6.8
医療，福祉 サービス業 (他に分類されないもの)	197.9	213.4	-7.3	200.2	205.9	-2.8	182.5	181.8	0.4	158.9	157.2	1.1	
217.5	210.7	3.2	199.3	197.7	0.8	171.4	170.0	0.8	163.6	160.4	2.0		

注：1） 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業，採石業，砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業，物品賃貸業、生活関連サービス業，娯楽業及び複合サービス事業を含む。

(4) 学歴別にみた初任給の分布

初任給の分布を学歴別にみると、大学卒では、男女ともに20万円台が最も多く、それぞれ31.8%、25.5%となっている。高校卒では、男女ともに16万円台が最も多く、それぞれ42.0%、34.0%となっている。(第17表)

第17表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒者数割合

平成30年

初任給の階級 千円	男				女				計			
	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 109.9				0.1				0.1				0.0
110.0 ～ 119.9				0.0				0.0				0.0
120.0 ～ 129.9			0.2	0.7			0.3	0.3			0.1	1.5
130.0 ～ 139.9			0.8	2.5			0.5	1.5			1.0	4.3
140.0 ～ 149.9		0.3	2.7	8.6		0.1	1.4	6.6		0.6	3.5	12.2
150.0 ～ 159.9		0.6	8.1	17.7		0.3	4.8	15.3		0.9	10.1	22.4
160.0 ～ 169.9	0.4	2.3	15.8	39.2	0.3	1.4	15.2	42.0	0.7	3.4	16.1	34.0
170.0 ～ 179.9	0.1	6.1	23.3	18.1	0.1	3.3	23.7	19.9	0.4	9.5	23.1	14.9
180.0 ～ 189.9	1.5	9.6	18.8	8.0	0.7	6.8	21.8	9.2	4.4	12.9	16.9	5.8
190.0 ～ 199.9	2.0	13.5	13.1	2.5	1.5	11.9	15.7	2.8	3.9	15.5	11.4	1.8
200.0 ～ 209.9	4.0	29.0	7.5	2.7	3.6	31.8	6.7	2.4	5.6	25.5	8.0	3.2
210.0 ～ 219.9	12.9	17.6	4.9		13.1	21.3	5.9		12.6	13.1	4.3	
220.0 ～ 229.9	17.9	9.0	1.9		17.8	10.0	1.7		18.8	7.7	2.0	
230.0 ～ 239.9	29.3	4.4	3.1		31.3	4.8	2.3		21.6	4.0	3.6	
240.0 ～ 249.9	13.8	3.2			13.6	3.0			14.4	3.5		
250.0 ～ 259.9	5.6	2.2			5.5	2.6			6.1	1.8		
260.0 ～ 269.9	4.6	1.2			4.8	1.3			4.0	1.1		
270.0 ～ 279.9	1.5				1.5				1.4			
280.0 ～ 299.9	2.0				1.8				2.6			
300.0 ～	4.4	1.0			4.5	1.4			3.9	0.6		
平 均 額 (千円)	238.7 (233.4)	206.7 (206.1)	181.4 (179.2)	165.1 (162.1)	239.9 (233.6)	210.1 (207.8)	182.9 (180.6)	166.6 (164.2)	234.2 (232.4)	202.6 (204.1)	180.4 (178.4)	162.3 (158.4)
第1・十分位数 (千円) ¹⁾	211.0 (212.8)	180.5 (180.2)	158.1 (155.7)	147.4 (144.1)	211.8 (214.2)	186.7 (183.4)	161.8 (158.8)	151.0 (148.8)	200.6 (206.8)	175.6 (176.5)	156.1 (153.9)	143.4 (138.6)
中 位 数 (千円) ¹⁾	234.4 (233.5)	206.0 (205.7)	179.5 (178.3)	165.3 (162.9)	235.1 (233.5)	207.4 (206.4)	181.5 (180.7)	166.4 (164.8)	231.5 (233.1)	202.1 (203.5)	177.3 (176.8)	161.9 (159.9)
第9・十分位数 (千円) ¹⁾	261.9 (247.3)	232.9 (231.7)	209.5 (204.8)	181.8 (178.1)	262.0 (247.1)	235.6 (231.9)	209.3 (202.4)	182.2 (178.9)	261.3 (250.2)	231.4 (231.3)	209.6 (206.2)	180.6 (177.3)
十 分 位 分 散 係 数 ²⁾	0.11 (0.07)	0.13 (0.13)	0.14 (0.14)	0.10 (0.10)	0.11 (0.07)	0.12 (0.12)	0.13 (0.12)	0.09 (0.09)	0.13 (0.09)	0.14 (0.13)	0.15 (0.15)	0.11 (0.12)

注：()内は、平成29年の数値である。

- 1) 十分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目(真ん中)に該当する者の初任給が中位数である。
- 2) 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

